

2025年7月18日

北海道地方最低賃金審議会
会長 亀野 淳 様

札幌パートユニオン
会長 大木 範夫



北海道地域最低賃金額を1500円に引き上げる要請書

私たち札幌パートユニオンは、連合加盟組織・全国ユニオン札幌地区ユニオンに所属する個人加盟の労働組合です。100名を超える組合員は概ね異なる事業場に所属しますが、業種別では「運送」、「建設」、「保育、介護」、「障害者支援」及び「医療」に関わる業務に就くものが多数です。

今、これら事業場では人材不足が深刻であり、事業存廃にも大きく影響する事案となっています。

これらの人材不足は全国共通の傾向と分析される中、私たちが生活する北海道では、単に給与を含めた労働条件の改善を以て人材確保可能となる状況にありません。首都圏・都市部の同一業種事業所に、業務内容・責務の「差」が認められない中、「賃金」及び「福利厚生を含む就労環境」は各段に劣ります。即ち、北海道の労働者がキャリアアップと適正な給与を得るには首都圏・都市部を選択するしかない状況なのです。

この状況は北海道地域の少子高齢化と過疎化を加速させる要因の一つであり、速やかな改善対策が必要です。今、中央最低賃金審議会が2025年度の最低賃金改定を議論する中、北海道地域の最低賃金改定議論も労使を含め地場参考人の意見を基に開始されます。

是非、北海道地域が直面している労働人口流出と地域過疎化、人手不足解消を重視し、地域・生活者・事業者・労働者の全てに資する改定議論を進め、最低賃金を単独生計維持可能な「1500円」に改定されるよう強く求めます。同金額のもとの雇用契約では何とか独立生計は維持できると推察され、労働人口流出にも歯止めが掛かるものと考えます。

官邸の政労使会議では、地域最低賃金改定には都道府県別補助金を以て支援にあたる決定も確認されています。当札幌パートユニオンは、北海道地方最低賃金審議会において種々ご賢察の上、北海道地域最低賃金を時間給1500円に改訂し、全会一致の決議をされるよう強く求めます。

以上